４年「伝統的な産業を大切にする地域～雄勝すずり」　（１～２月　８時間　）

1. 小単元の目標・・・この単元は学習指導要領の内容（５）ア（ア）（イ），イ（ア）に基づいて行う

　雄勝町の位置や自然環境，人々の活動や伝統的な産業の歴史的背景，人々の協力関係などに着目して，各種の資料で調べ，文などにまとめることを通して，雄勝町の様子を捉え，その特色を考え，表現することを通して，雄勝町では，人々が協力し，伝統的な産業の発展に努めていることを理解できるようにする。

（２）評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・特色ある地域の位置や自然環境，人々の活動や産業の歴史的背景，人々の協力関係などについて，地図帳や各種の資料などで調べて，必要な情報を読み取り，地域の様子を理解している。  ・調べたことを白地図や文などにまとめ，人々が協力し，産業の発展に努めていることを理解している。 | ・特色ある地域の位置や自然環境，人々の活動や産業の歴史的背景，人々の協力関係などに着目して，問いを見いだし，地域の様子について考え表現している。  ・人々の活動や産業と地域の発展を関連付けたり，自分たちの住む地域と比較したりして，県内の地域の特色を考え，適切に表現している。 | ・県内の特色ある地域の様子について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして主体的に学習問題を追及し，解決しようとしている。  ・よりよい社会を考え，学習したことについて，様々な立場から考えようとしている。 |

（３）知識の構造図

まとめる

中心概念

伝統的な技術を生かした工業が盛んな地域の人々は，自然環境や伝統的な技術を生かし，工夫や努力をしながら受け継ぎ，発展に努めている。❻

具体的知識

雄勝町は硯の生産量が全国一位である。❶

雄勝町には特色があり、そこにくらす人々は、特色やよさを生かしたまちづくりをしている。　　　　　　　　　❼❽

後継者不足などの問題をかかえながらも、雄勝硯のよさを広めるための様々な取組が行われている。　　　　　　　❺

一人前の硯彫りの工人になるためには、長い年月と努力が必要である。　　　❹

硯ができるまでいくつもの工程があり、作る工程によって様々な道具を使う。❸

硯の原料の玄昌石が多く採れ、六百年以上も前から硯が生産されている。　　❷

用語・語句

雄勝硯生産販売協同組合

後継者不足

一人前の工人

硯をつくる道具

いくつもの工程

硯をつくる道具

玄昌石

六百年以上前

雄勝硯

生産量全国一位

問題解決的な

学習の過程

いかす

調べる

つかむ

（４）指導計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習  過程 | 主発問  主な学習活動・内容 | □指導上の留意点  ☆評価計画 | 資料 |
| 学習問題をつかむ（一時間） | 雄勝硯と大量生産の硯を比べて，調べてみよう。❶  ①雄勝硯と大量生産の硯を比べて調べる。  ②調べて分かったことを整理し，ノートにまとめる。 | □硯を見たり，触ったり，すったりしながら比較させ，その違いから興味を持たせるよう工夫する。  □「伝統工芸」などの意味を説明する。  ☆雄勝硯について関心を持ち，進んで解決していこうとしている。《態度》  雄勝硯はどのようにして作られ，作っている人はどのような工夫や努力をしているのだろうか。 | ・雄勝硯  ・一般の硯 |
| 学習問題について調べる（四時間）  学習過  程 | 雄勝町はどうして硯づくりが盛んな地域なのか調べてみよう。❷  ①副読本やパンフレットなどを活用して，雄勝町で硯作りが盛んな理由を調べる。  ②調べて分かったことを整理しノートにまとめる。  　雄勝町では，硯づくりに適した固さの玄昌石が多く採れるため，６００年以上前から硯作りが盛んである。 | □石巻市雄勝町の位置を，地図帳で確認させる。  □石巻市雄勝町の自然環境や，産業について調べ，分かったことをノートにまとめさせる。  ☆県内の特色ある地域の様子について，資料を活用して調べ，必要な情報を読み取っている。《知識・技能》 | ・副読本  ・宮城県の地図  ・地図帳 |
| 雄勝硯はどのようにしてつくっているのか調べてみよう。❸  ①副読本やWebページなどを活用し，雄勝硯ができるまでの工程について調べる。  ②雄勝硯作りで使われる道具を調べる。  雄勝硯ができるまでには，いくつもの工程があり，様々な道具が使われている。 | □分かったことを観点別にまとめさせるようにする。  □イラストなどを交えて，分かりやすくまとめさせる。  ☆県内の特色ある地域の様子について，資料を活用して調べ，必要な情報を読み取っている。《知識・技能》 | ・副読本  ・雄勝硯生産販売協同組合Webページ |
| 雄勝硯をつくっている人々について調べてみよう。❹  ①工人の方の話や写真から，一人前になるまでの苦労やどのような思いで硯を作っているか調べる。  一人前の工人になるためには，長い年月と努力が必要である。 | □工人の方々は，長い年月をかけて技術を身に付けていることや，使う人が大事に使ってほしいという思いで硯づくりに励んでいることに目を向けさせる。  ☆県内の特色ある地域の様子について，資料を活用して調べ，必要な情報を読み取っている。《知識・技能》 | ・副読本 |
| 雄勝硯をつくっている人々の工夫や努力について調べてみよう。❺  ①雄勝硯を取り巻く現状や工人の方々の工夫・努力を調べ，思いや願いについて話し合う。  　後継者の育成などの課題を抱えながらも，雄勝硯のよさを広めるための様々な取組が行われている。 | □後継者問題や，雄勝硯の魅力を広める新たな取組から，工人の方々の思いや願いについて考えさせる。  ☆県内の伝統的な技術を受け継いできた人々の工夫・努力について考え，適切に表現している。  《思考・判断・表現》 | ・副読本  ・雄勝硯生産販売協同組合Webページ |
| 学習問題をまとめる（一時間） | これまでに調べたことをもとに，学習問題について考えよう。❻  ①単元の学習を通して，これまで学んできたことを振り返る。  ②学習問題に対する自分の考えをノートにまとめる。  　雄勝硯の工人の方々は，自分たちが住む地域の特色や受け継がれてきた技術を大切にしながら，それを生かしてよりよいまちづくりに努めている。 | □ノートや掲示物などを手掛かりにして，石巻雄勝町の人々や雄勝硯の工人の方々の思いや願いを中心に，学習したことを振り返らせる。  ☆県内の特色ある地域の人々の活動と地域資源との結び付きや，伝統的な技術を受け継いできた人々の工夫・努力について考え，適切に表現している。　　　　《思考・判断・表現》  ☆人々が協力し，産業の発展に努めていることを理解している。  《知識・技能》 | ・掲示物 |
| いかす（二時間） | 雄勝硯を紹介する新聞を作ろう。❼❽  ①学習してきたことを生かし，雄勝硯を紹介する新聞を作成する。  【小見出しの例】  ・雄勝硯の特徴　・雄勝硯ができるまで  ・工人の方々の工夫や努力  ・かかえている問題  ②新聞をもとに，自分で分かったことをグループの友達と交流する。 | □県外の親戚や友達に紹介することを想定するなど，相手意識を持って魅力をPRさせる。  ☆県内の特色ある地域の人々の活動と地域資源との結び付きや，伝統的な技術を受け継いできた人々の工夫・努力について考え，適切に表現している。　　　　《思考・判断・表現》 |  |

（５）ワークシート

調べ学習ワークシート

「作り方の工夫」「職人の工夫や努力」「広める努力」の３つの観点でまとめさせ，新聞づくりにつなげられるようにする。

ポイント

紹介できる言葉

考えたこと

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 作り方の工夫 | 職人の工夫や努力 | 広める努力 |
|  |  |  |

ポイント